

KiKiの広場

2018年 8月 1日

cafe NO.94
KiKi



最近、わが家の目の前にあったほんの小さな雑木林が整備され平地になりました。すると、あちらこちらでタヌキの目撃情報が。昼間でも普通に親子タヌキがウロウロし、家庭菜園を荒らしたりもしています。あんな身近なところに住んでいたんだなあという驚きと共に、住処を奪われて一生懸命生きようとしているタヌキの親子の、安住の地が気になる今日この頃です。生き物の共存が優しい世の中になるのは難しいのかなあ・・・

8月の予定

休館日	14日(火)
定休日	毎土・日曜日
臨時休業日	13日(月) 15日(水) 31日(火)



期間限定!
8月いっぱい

「今月のケーキ」・・・「オレンジクリームケーキ」350円

オレンジクリームの中にたっぷりの刻みチョコレート。チョコレートの食感が楽しい、さわやかな風味のまあるいケーキです。アイスクリーム感覚で食べられる美味しいスイーツです。

今月のお気に入り・・・「夏の暑さを吹き飛ばそう!! Part2」

～「じっちょりんのなつのいちにち」「地球をほる」「おぼけのどろんどろんとびかびかおぼけ」「はなび」などなど～



「じっちょりんのなつのいちにち」は、「じっちょりん」という名前の虫のようなコロボックルのような家族のお話です。「じっちょりんのあるくみち」でじっちょりんたちの1日は、種を集めていろいろな所に植えることということがわかりました。では、暑い夏はどう過ごしているのでしょうか？道端の植物が丁寧に優しく描かれていて、ほおずきの中で雨宿りするシーンはとっても鮮やか。しかも、美味しいジュースつき。虫目線の日常が、ほのぼのと楽しい絵本です。どのページにも隠れている小さなハート探しも面白いです。

「地球をほる」の作者は、「うえきぼちです」の川端誠さんです。「地球に穴を掘ってアメリカに行く」、こんな壮大な夢を実現させるお話です。まっすぐ掘ると核にあたるので斜めに進んで行きます。掘るにつれ土の中に、刀・大仏・恐竜の骨・宇宙船？などが次々と埋まっていて、見ただけでワクワクします。読み方もまっすぐではありません。やっとアメリカに着いても日本から穴を掘って来たとなかなか信じてもらえず、穴をのぞいてもらうことに。「Oh my god!」穴の向こうに見えるあの山は、もしかして・・・



今月の本棚・・・「子どもの好奇心の数だけ広がるかかくの世界 福音館「かかくのとも」シリーズ」

～「しゃぼんだまとあそぼう」「からだのみなさん」「かみひこうき」「およく」「うずまき」「みんなうんち」などなど～



「かかくのとも」は、1969年に、世界ではじめて創刊された月刊科学絵本です。「ものにはいろいろな見方があって、遊びの中にも生活の中にも科学の芽はいっぱい。理科だけが科学じゃない。小学校のどの教科にも科学の要素はある。そういう目や心が育まれることが願い。「知識」ではなく「感動」を届けることを大切にしている。」編集スタッフの方たちの思いだそうです。心が動いて、もっと知りたくなって、自分でやってみたくなる、身近な世界の面白さへの発見がいっぱいあります。



ほっとフレイク

夏休みに入って、5年生の女の子と小学校で読みがたりをされているというお母さんが来店されました。女の子は、「こんにちは。」と挨拶をするなり、本棚の前に直行。私も大好きな「かかくひろしさん」の絵本を次々に手に取って、にこにこしながら読まれていました。普段お仕事をされているというお母さんは、今日はお休みを取って、常盤公園で毎年開催されている「青空読書会」の読み手として参加される予定だったそうです。けれどもこの暑さの為中止になり時間ができたので、娘さんと「KiKi」に来てくださったとのこと。絵本の選書や読み方など、久しぶりに絵本についていっぱいおしゃべりすることができました。「今日はお話できてよかったです。」と言ってお話をいただきましたが、私にとっても絵本っていいな、奥が深いな、やっぱり楽しい!って改めて思える時間でした。♡